

# 社会の変化と高齢者の日常生活

## II. 情報への対応

杉山喜美恵・宮崎 和子・本間 恵美  
杉原 利治\*・日比 昌子\*\*

### I. はじめに

高齢者の日常生活は、肉体的にも、精神的にも、種々の問題をはらんでいる<sup>1-4)</sup>。また、科学技術の急速な発展による社会の激変の中で、高齢者はややもすれば取り残されがちになる。一方、科学技術の恩恵は、高齢者にも、否むしろ、高齢者にこそ施されるべきであろう。情報化社会はそのような可能性を持っている。また、そのような方向を指向することが、これからの高度情報化社会のあるべき姿だと考えられる。

このような問題意識の上にたち、前報では高齢者の日常生活の現状を分析した。本研究ではさらに、高齢者が情報にどのように対応しているか、またその問題点は何かを明かにしようと考へた。そして、1. 表示（食品、衣服）の認識と問題点、2. クレジットカードの利用、3. 社会サービスの現状と未来、4. 電化製品の利用と問題点、について調査をし、これらのことがらに対する高齢者の現状を明かにした。そして、これらの情報関連項目への対応は、高齢者の性、年齢、健康状態、目の状態、取り扱い説明書を読むかどうか、メディアの利用状況、によって異なるのではないかという仮説をたて、クロス集計表の $\chi^2$ 検定によって仮説を検証した。

### II. 方法

調査法および調査対象（60才以上、567名）の内訳は前報に述べた通りである<sup>5)</sup>。

本研究での調査項目は、全設問33問のうち、前報の19の設問を除いた以下の項目である。

問18. 服や下着に「どんな種類の布から作られていて、洗濯はどのようにしたらいいか」ということがわかる小さな布（ラベル）がついていることを知っていますか？

問19. その小さな布（ラベル）についてどんな問題点がありますか？（いくつでも）

問20. かまぼこ・ハム・佃煮などに製造年月日や内容についての表示があるのを知っていますか？

問21. その表示についてどんな問題点がありますか？（いくつでも）

問22. クレジットカードで買物をすることがありますか？

問23. 上の質問で「ほとんどしない」と答えた人におたずねします。その理由は何ですか？（いくつでも）

問27. どのようなサービスを今までに利用したことがありますか？（いくつでも）

問28. 今後、どのようなサービスを利用したいと思えますか？（いくつでも）

問29. 次の電化製品の中であなたご自身がよく使うものに○をつけてください。

\*：岐阜大学

\*\*：日本中央学園

問30. 電化製品についている取り扱い説明書を読んで使い方を覚えますか？

問31. 「取り扱い説明書」にはどんな問題があると思いますか？（いくつでも）

問32. 電子レンジをよく使いますか？

問33. 電子レンジについてどう思いますか？（いくつでも）

### III. 結果と考察

#### 1. 表示の認識と問題点

##### 1) 加工食品の表示

加工食品に表示があることを知っている者の割合は84.9%で、男女を問わず認識度が高い。この認識度は、年齢、健康状態、電化製品の取り扱い説明書を読むことに関連がある。すなわ

表1. 加工食品の表示の認識

		知っている	知らない	どちらとも言えない	計
全体		469 84.9	34 6.2	49 8.9	552 100.0
性	男	128 81.0	13 8.2	17 10.8	158 100.0
	女	341 86.6	21 5.3	32 8.1	394 100.0
年齢	60~64歳	58 96.7	0 0	2 3.3	60 100.0
	65~69歳	93 90.3	3 2.9	7 6.8	103 100.0
	70~74歳	133 90.5	6 4.1	8 5.4	147 100.0
	75~79歳	115 83.9	10 7.3	12 8.8	137 100.0
80歳~	71 67.0	15 14.1	20 18.9	106 100.0	
健康状態	健康である	236 87.7	20 7.5	13 4.8	269 100.0
	病気はない	176 84.6	11 5.3	21 10.1	208 100.0
	病気がち	45 81.8	2 3.6	8 14.6	55 100.0
	病気で寝ている	11 64.7	1 5.9	5 29.4	17 100.0
目の状態	メガネなしで読める	55 80.9	6 8.8	7 10.3	68 100.0
	メガネをかければ読める	403 80.3	24 5.1	40 8.6	467 100.0
	字は読めない	12 70.6	3 17.6	2 11.8	17 100.0
	字は読めない	12 70.6	3 17.6	2 11.8	17 100.0
取り扱い説明書	読む	215 93.9	9 3.9	5 2.2	229 100.0
	読まない	129 79.6	18 11.1	15 9.3	162 100.0
	どちらでもない	112 76.7	4 2.7	30 20.6	146 100.0
	本や雑誌を読む	130 92.2	7 5.0	4 2.8	141 100.0
メディア	新聞を見る	317 89.2	19 5.4	19 5.4	355 100.0
	テレビを見る	424 85.6	30 6.1	41 8.3	495 100.0
	ラジオを聞く	96 90.6	3 2.8	7 6.6	106 100.0

表2. 加工食品の表示の問題点(複数回答)

		字が小さい すぎる	内容が 難しい	ついている場所 がわかりにくい	関心が ない	問題は ない	その他
全体 n=567		217 38.3	41 7.2	110 19.4	95 16.8	153 27.0	10 1.8
性	男 n=165	53 32.1	12 7.3	29 17.6	44 26.7	35 21.2	4 2.4
	女 n=399	164 41.1	29 7.3	81 20.3	51 12.8	118 29.6	6 1.5
年齢	60~64歳 n=60	28 46.7	3 5.0	13 21.7	10 16.7	19 31.7	2 3.3
	65~69歳 n=103	34 33.0	6 5.8	24 23.3	10 9.7	35 34.0	1 1.0
	70~74歳 n=149	66 44.3	13 8.7	26 17.4	20 13.4	39 26.2	3 2.0
	75~79歳 n=142	48 33.8	12 8.5	28 19.7	27 19.0	39 27.5	3 2.1
	80歳~ n=111	43 38.7	7 6.3	20 18.0	28 25.2	20 18.0	1 0.9
健康状態	健康である n=274	94 34.3	24 8.8	57 20.8	40 14.6	87 31.8	6 2.2
	病気はない n=214	93 43.5	13 6.1	37 17.3	39 18.2	48 22.4	3 1.4
	病気がち n=55	23 41.8	3 5.5	12 21.8	9 16.4	16 29.1	1 1.8
	病気で寝ている n=18	7 38.9	1 5.6	4 22.2	6 33.3	1 5.6	0 0
目の状態	メガネなしで読める n=72	9 12.5	1 1.4	13 18.1	17 23.6	24 33.3	0 0
	メガネをかければ読める n=474	203 42.8	39 8.2	93 19.6	73 15.4	126 26.6	9 1.9
	字は読めない n=17	6 35.3	1 5.9	5 29.4	5 29.4	3 17.6	1 5.9
取り扱い説明書	読む n=229	93 40.6	14 6.1	51 22.3	21 9.2	73 31.9	5 2.2
	読まない n=163	60 36.8	7 4.3	24 14.7	38 23.3	41 25.2	1 0.6
	どちらでもない n=150	59 39.3	16 10.7	34 22.7	34 22.7	38 25.3	5 3.3
メディア	本や雑誌を読む n=143	63 44.1	10 7.0	23 16.1	9 6.3	48 33.6	4 2.8
	新聞を見る n=362	149 41.3	31 8.6	75 20.8	51 14.1	96 26.6	7 1.9
	テレビを見る n=506	194 38.3	35 6.9	102 20.2	80 15.8	137 27.1	8 1.6
	ラジオを聞く n=109	45 41.3	10 9.2	26 23.9	17 15.6	24 22.0	2 1.8

注. n=全体の数  
nをもとに割合を算出した(表4.5.6.7.9.11.13.同様)

ち、60～64歳では全員が知っているが、高齢になるに従って漸次認識度が減少する。健康状態別では健康な者ほど、また取り扱い説明書を読む者ほど認識度が高い。

食品は自分で購入する機会が多いため、表示に対する関心が高く、加工食品の表示について無関心な者は16.8%のみである。また表示について問題点なしとする者は27.0%で、多くの者が何等かの問題点を感じている。問題点として

は「字が小さすぎる」をあげている者が多く、次いで「表示場所がわかりにくい」が多い。

## 2) 衣服の表示

全体の67.5%の者が衣服に品質表示があることを知っており、15.1%の者が知らない。加工食品の表示と異なり、女性の認識度75.4%に対し、男性の認識度が55.1%と、性による認識度の違いがみられる。健康な者ほど、取り扱い説明書を読む者ほど、認識度が高いのは食品の表

表3. 衣服のラベル 上段:実数(人)  
下段:割合(%)

		知っている	知らない	どちらでもない	計
全体		383 67.5	86 15.1	82 14.5	551 100.0
性	男	88 55.1	48 30.8	22 14.1	156 100.0
	女	295 75.4	34 9.7	58 14.8	391 100.0
年齢	60～64歳	48 80.0	4 6.7	8 13.3	60 100.0
	65～69歳	81 79.4	9 8.8	12 11.8	102 100.0
	70～74歳	118 82.5	13 9.1	12 8.4	143 100.0
	75～79歳	86 62.8	33 24.1	18 13.1	137 100.0
	80歳～	49 46.2	27 25.5	30 28.3	106 100.0
健康状態	健康である	193 71.7	49 18.2	27 10.0	269 100.0
	病気はない	140 68.6	29 14.2	35 17.2	204 100.0
	病気がち	40 74.1	4 7.4	10 18.5	54 100.0
	病気で寝ている	7 41.2	4 23.5	6 35.3	17 100.0
目の状態	メガネなしで読める	42 60.9	11 16.0	16 23.2	69 100.0
	メガネをかければ読める	331 71.8	69 15.0	61 13.2	461 100.0
	字は読めない	10 58.8	5 29.4	2 11.2	17 100.0
取り扱い説明書	読む	196 86.0	20 8.8	12 5.3	228 100.0
	読まない	75 53.6	41 29.3	24 17.1	140 100.0
	どちらでもない	82 56.6	19 13.1	44 30.3	145 100.0
メディア	本や雑誌を読む	121 86.4	13 9.3	6 4.3	140 100.0
	新聞を見る	269 76.4	49 13.9	34 9.7	352 100.0
	テレビを見る	342 69.8	76 15.5	72 14.7	490 100.0
	ラジオを聞く	81 76.4	18 17.0	7 6.6	106 100.0

表4. 衣服のラベルの問題点(複数回答) 上段:実数(人)  
下段:割合(%)

		字が小さすぎる	内容が難しい	ついている場所がわかりにくい	関心がない	問題はない	その他
全体 n=567		185 30.5	61 12.0	41 8.1	150 29.5	138 27.2	8 1.6
性	男 n=165	35 23.6	14 9.5	4 2.7	63 42.6	29 19.6	3 2.0
	女 n=399	150 34.5	47 11.1	37 8.5	87 20.0	109 25.1	5 1.1
年齢	60～64歳 n=60	21 35.0	2 3.3	2 3.3	12 20.0	22 36.7	2 3.3
	65～69歳 n=103	32 31.1	10 9.7	2 1.9	23 22.3	35 34.0	0 0
	70～74歳 n=149	62 41.6	24 16.1	19 12.8	30 20.1	29 19.5	4 2.7
	75～79歳 n=142	38 26.8	14 9.9	12 8.5	43 30.0	34 23.9	1 0.7
	80歳～ n=111	32 28.8	11 9.9	6 5.4	42 37.8	18 16.2	1 0.9
健康状態	健康である n=274	78 28.5	32 11.7	21 7.7	69 25.2	76 27.7	4 1.5
	病気はない n=214	78 36.4	21 9.8	15 7.0	50 23.4	50 23.4	3 1.4
	病気がち n=55	20 36.4	6 10.9	5 9.1	19 34.5	12 21.8	1 1.8
	病気で寝ている n=18	8 44.4	2 11.1	0 0	8 44.4	0 0	0 0
目の状態	メガネなしで読める n=72	12 16.7	4 5.6	1 1.4	25 34.7	25 34.7	0 0
	メガネをかければ読める n=474	165 34.8	56 11.8	39 8.2	117 26.7	111 23.4	8 1.7
	字は読めない n=17	7 41.2	1 5.9	1 5.9	8 47.1	3 17.6	0 0
取り扱い説明書	読む n=229	78 34.1	27 11.8	16 7.0	40 17.5	82 35.8	5 2.2
	読まない n=163	49 30.1	17 10.4	10 6.1	57 35.0	31 19.0	1 0.6
	どちらでもない n=150	52 34.7	13 8.7	13 8.7	49 32.7	26 17.3	3 2.0
メディア	本や雑誌を読む n=143	46 32.2	16 11.2	10 7.0	15 10.5	55 38.5	3 2.1
	新聞を見る n=362	115 31.9	41 11.4	25 6.9	83 23.0	101 28.0	6 1.7
	テレビを見る n=506	161 31.8	51 10.1	39 7.7	131 25.9	128 25.3	7 1.4
	ラジオを聞く n=109	37 33.9	11 10.1	8 7.3	22 20.2	31 28.4	1 0.9

示と同様である。また、年齢別では74歳以下で衣服の表示を知らない者は10%以下であるが、75歳以上になると約25%が知らない。

衣服の表示については、全体の30.5%が、「字が小さすぎる」を問題点としてあげている。また29.5%の者は無関心で、特に「男性」、メガネをかけても「字が読めない」、「病気で寝ている」者に多い。他の調査<sup>6)</sup>でも、衣生活に対して無関心の者ほど、衣服の入手も「買ってきてもらう」「人からもらう」割合が高い、と報

告されており、本調査でも、無関心の者に男性や病気で寝ている者が多いのは同様の理由によると思われる。

## 2. サービスの利用経験と利用意向

### 1) 今までに利用したことのあるサービス

社会サービスのうち、古くからある出前や御用聞きサービス等を除き、比較的歴史の新しいサービス14種について、今までに利用した経験者の割合を調べた。

全体的に利用率は低く、いずれのサービスも

表5. 今までに利用したことのあるサービス (複数回答)

		給食宅配	夕食材料 宅配	ファースト フード	デリカ テッセン	リフォーム	家事代行	貸し農園	カタログ ショッピング	キャッシュ サービス	電話 サービス	コンピュー タ健康診断
全体 n = 567		55 9.7	29 5.1	29 5.1	20 3.5	12 2.1	9 1.6	17 3.0	67 11.8	64 11.3	23 4.1	8 1.4
性	男 n = 165	13 7.9	8 4.8	7 4.2	4 2.4	3 1.8	1 0.6	8 4.8	16 9.7	20 12.1	10 6.1	3 1.8
	女 n = 399	42 10.5	21 5.3	22 5.5	16 4.0	9 2.3	8 2.0	9 2.3	50 12.5	44 11.0	13 3.3	5 1.3
年 齢	60~64歳 n = 60	5 8.3	2 3.3	6 10.0	6 10.0	2 3.3	1 1.7	1 1.7	15 25.0	20 33.3	3 5.0	1 1.7
	65~69歳 n = 103	9 8.7	3 2.9	10 9.7	3 2.9	1 1.0	0 0	1 1.0	15 14.6	17 16.5	3 2.9	1 1.0
	70~74歳 n = 149	17 11.4	14 9.4	8 5.4	8 5.4	3 2.0	5 3.4	6 4.0	18 12.1	16 10.7	8 5.4	2 1.3
	75~79歳 n = 142	13 9.2	5 3.5	3 2.1	3 2.1	5 3.5	1 0.7	6 4.2	12 8.5	9 6.3	7 4.9	1 0.7
	80歳~ n = 111	11 9.9	5 4.5	1 0.9	0 0	1 0.9	2 1.8	3 2.7	7 6.3	1 0.9	2 1.8	3 2.7
健 康 状 態	健康である n = 274	27 9.9	9 3.3	14 5.1	6 2.2	4 1.5	2 0.7	9 3.3	34 12.4	30 10.9	14 5.1	3 11.1
	病気はない n = 214	19 8.9	15 7.0	9 4.2	13 6.1	5 2.3	4 1.9	6 2.8	27 12.6	29 13.6	8 3.7	5 2.3
	病気がち n = 55	9 16.4	4 7.3	4 7.3	1 1.8	2 3.6	1 1.8	0 0	5 9.1	4 7.3	1 1.8	0 0
	病気で寝ている n = 18	0 0	1 5.6	0 0	0 0	1 5.6	2 11.1	1 5.6	0 0	0 0	0 0	0 0
目 の 状 態	メガネなしで 読める n = 72	7 9.7	3 4.2	1 1.4	1 1.4	0 0	0 0	4 5.6	7 9.7	4 5.6	2 2.8	1 1.4
	メガネをかければ 読める n = 474	47 9.9	26 5.5	28 5.9	19 4.0	11 2.3	9 1.9	12 2.5	57 12.0	58 12.2	20 4.2	7 0.2
	字は読めない n = 17	1 5.9	0 0	0 0	0 0	1 5.9	0 0	1 5.9	3 17.6	2 11.8	1 5.9	0 0
取 り 扱 い 説 明 書	読む n = 229	28 12.2	13 5.7	9 3.9	9 3.9	5 2.2	3 1.3	6 2.6	32 14.0	38 16.6	14 6.1	4 1.7
	読まない n = 163	19 11.7	10 6.1	9 5.5	2 1.2	6 3.7	4 2.5	6 3.7	16 9.8	10 6.1	4 2.5	2 1.2
	どちらでもない n = 150	7 4.7	5 3.3	10 6.7	9 6.0	1 0.7	2 1.3	5 3.3	17 11.3	15 10.0	5 3.3	2 1.3
メ デ ィ ア	本や雑誌を読む n = 143	19 13.3	7 4.9	6 4.2	4 2.8	4 2.8	0 0	4 2.8	24 16.8	25 17.5	7 4.9	3 2.1
	新聞を見る n = 361	40 11.1	19 5.3	21 5.8	13 3.6	6 1.7	3 0.8	14 3.9	51 14.1	47 13.0	19 5.3	7 1.9
	テレビを見る n = 506	52 10.3	24 4.7	26 5.1	18 3.6	11 2.2	9 1.8	16 3.2	60 11.9	58 11.5	21 4.2	8 1.6
	ラジオを聞く n = 109	8 7.3	4 3.7	4 3.7	3 2.8	4 3.7	0 0	6 5.5	9 8.3	14 12.8	3 2.8	2 1.8

利用した経験のない者が半数以上を占める。カタログショッピング、キャッシュサービスは一般に広く普及しているものであり、高齢者においても他のサービスよりは多くの利用がみられたが、わずか11%強である。主婦を対象としたアンケート調査<sup>7)</sup>の、カタログショッピングの利用経験者56.3%と比較すると、高齢者の利用率が低いのが明らかである。

今までに利用したサービスは、年齢や健康状

		上段：実数(人) 下段：割合(%)			
		在宅医療	介護用品 貸出し	入浴 サービス	なし
全体 n = 567		20 3.5	10 1.8	12 2.1	315 55.6
性	男 n = 165	4 2.4	4 2.4	3 1.8	91 55.2
	女 n = 399	16 4.0	6 1.5	9 2.3	222 55.6
年 齢	60~64歳 n = 60	0 0	0 0	1 1.7	27 45.0
	65~69歳 n = 103	5 4.9	3 2.9	1 1.0	53 51.5
	70~74歳 n = 149	1 0.7	1 0.7	4 2.7	76 51.0
	75~79歳 n = 142	7 4.9	4 2.8	6 4.2	86 60.6
	80歳~ n = 111	6 5.4	2 1.8	0 0	72 64.9
	健康状態	健康である n = 274	8 2.9	6 2.2	7 2.6
	病気はない n = 214	6 2.8	2 0.9	3 1.4	121 56.5
	病気がち n = 55	3 5.5	0 0	1 1.8	29 52.7
	病気で寝ている n = 18	3 16.7	2 11.1	1 5.6	8 44.4
目 の 状 態	メガネなしで 読める n = 72	3 4.2	3 4.2	1 1.4	41 56.9
	メガネをかければ 読める n = 474	15 3.2	6 1.3	11 2.3	262 55.3
	字は読めない n = 17	1 5.9	0 0	0 0	9 52.9
取 り 扱 い 説 明 書	読む n = 229	9 3.9	3 1.3	3 1.3	118 51.5
	読まない n = 163	7 4.3	3 1.8	3 1.8	89 54.6
	どちらでもない n = 150	3 2.0	2 1.3	5 3.3	89 59.3
メ デ ィ ア	本や雑誌を読む n = 143	2 1.4	0 0	1 0.7	74 51.7
	新聞を見る n = 361	7 1.9	4 1.1	8 2.2	190 52.6
	テレビを見る n = 506	15 3.0	10 2.0	12 2.4	281 55.5
	ラジオを聞く n = 109	0 0	2 1.8	3 2.8	68 62.4

態により有意差がある。キャッシュサービス、カタログショッピングは60~64歳の利用が顕著で、キャッシュサービスは33.3%、カタログショッピングは25.0%の割合で利用している。しかし年齢が高くなるにつれて利用は漸次減少している。給食宅配は全体では9.7%とその次に多く、夕食材料の宅配、ファーストフードがそれぞれ5.1%でそれに次ぐ。給食宅配は、特に病気がちな者の利用が他より多い傾向にある。在宅医療、介護用品貸出し、家事代行は、全体では1.6~3.5%に過ぎないが、病気で寝ている者の利用はそれぞれ10%以上で、健康状態による差が顕著である。

## 2) 今後利用したいサービス

現在すでに普及しているサービス14種、普及が望まれるサービス4種について、今後の利用意向を調査した。

全体の53.1%の者が利用したいサービスはないと答えている。全体に今後の利用意向は高くないが、その中では、「高齢者向きの商品をそろえたデパート」が最も多く13.1%で、次いで「在宅医療」(11.6%)、「コンピュータ健康診断」(9.7%)、「高齢者レストラン」(9.0%)、給食宅配(8.8%)の順となっている。

しかし、今後の利用意向が低いという結果から、高齢者はサービスを利用したがるらないとは

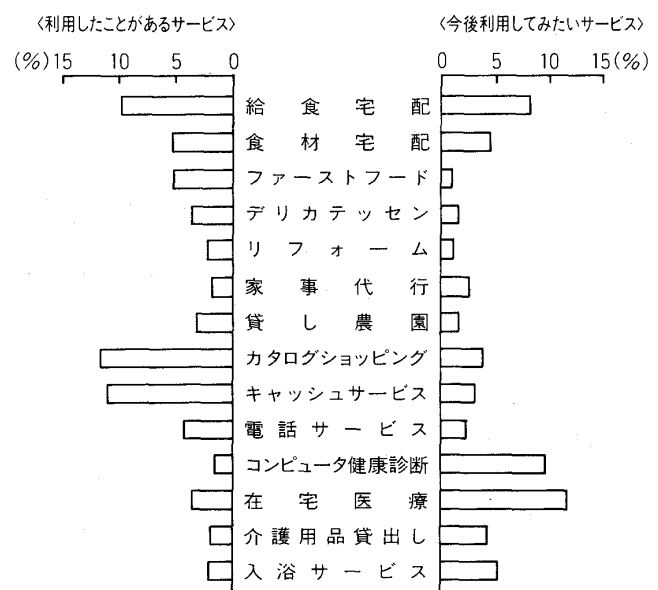


図1 サービスの利用経験と利用意向の比較

いえない。利用したいサービスの上位5位に、現在まだあまり普及していない「高齢者向きの商品をそろえたデパート」と、「高齢者レストラン」が入っていることからみて、彼らが望むサービスの種類や内容が、現在まだ充分整備されていないことも利用意向の低い一因と考えられる。

今までに利用したことのあるサービスと、今後利用したいサービスを比較してみると、今後の利用意向の方が高いサービスは、「在宅医療」、

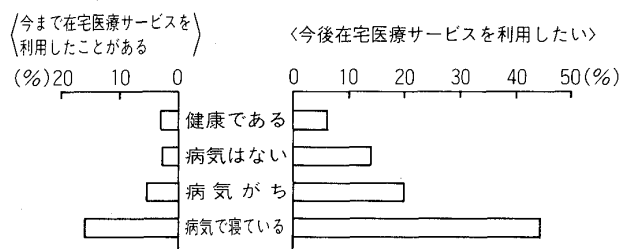


図2 「在宅医療」と「健康状態」

「コンピュータ健康診断」「入浴サービス」、「介護用品貸出し」、「家事代行」である。さら

表6. 今後利用したいサービス（複数回答）

		給食宅配	食材宅配	ファースト フード	デリカ テッセン	高齢者 レストラン	治療食宅配	リフォーム	美容院出張 サービス	家事代行	貸し農園
全体 n=567		50 8.8	26 4.6	6 1.1	9 1.6	51 9.0	46 8.1	7 1.2	35 6.2	13 2.3	11 1.9
性	男 n=165	16 9.7	5 3.0	2 1.2	2 1.2	19 11.5	13 7.9	4 2.4	7 4.2	3 1.8	6 3.6
	女 n=399	34 8.5	21 5.3	4 1.0	7 1.8	32 8.0	33 8.3	3 0.8	28 7.0	10 2.5	5 1.3
年 齢	60~64歳 n=60	4 6.7	2 3.3	0 0	0 0	4 6.7	6 10.0	1 1.7	5 8.3	3 5.0	2 3.3
	65~69歳 n=103	15 14.6	6 5.8	3 2.9	1 1.0	12 11.7	7 6.8	2 1.9	6 5.8	4 3.9	1 1.0
	70~74歳 n=149	8 5.4	8 5.4	1 0.7	3 2.0	13 8.7	14 9.4	1 0.7	11 7.4	4 2.7	4 2.7
	75~79歳 n=142	5 3.5	3 2.1	1 0.7	4 2.8	12 8.5	9 6.3	3 2.1	6 4.2	1 0.7	3 2.1
	80歳~ n=111	18 16.2	6 5.4	1 0.9	1 0.9	10 9.0	10 9.0	0 0	7 6.3	1 0.9	1 0.9
健康 状態	健康である n=274	18 6.6	5 1.8	2 0.7	5 1.8	23 8.4	18 6.6	2 0.7	7 2.6	5 1.8	6 2.2
	病気はない n=214	25 11.7	19 8.9	2 0.9	3 1.4	19 8.9	17 7.9	2 0.9	17 7.9	5 2.3	5 2.3
	病気がち n=55	5 9.1	2 3.6	2 3.6	1 1.8	7 12.7	9 16.4	2 3.6	8 14.5	2 3.6	0 0
	病気で寝ている n=18	2 11.1	0 0	0 0	0 0	2 11.1	2 11.1	1 5.6	2 11.1	1 5.6	0 0
目 の 状 態	メガネなしで 読める n=72	2 2.8	3 4.2	0 0	1 1.4	6 8.3	3 4.2	0 0	3 4.2	0 0	0 0
	メガネをかければ 読める n=474	47 9.9	22 4.6	6 1.3	8 1.7	45 9.5	41 8.6	7 1.5	29 6.1	13 2.7	11 2.3
	字は読めない n=17	1 5.9	1 5.9	0 0	0 0	0 0	2 11.8	0 0	3 17.6	0 0	0 0
取 り 扱 い 説 明 書	読む n=229	27 11.8	10 4.4	3 1.3	5 2.2	22 9.6	23 10.0	4 1.7	16 7.0	9 3.9	5 2.2
	読まない n=163	10 6.1	8 4.9	2 1.2	2 1.2	19 11.7	7 4.3	2 1.2	12 7.4	3 1.8	3 8.0
	どちらでもない n=150	13 8.7	8 5.3	1 0.7	2 1.3	9 6.0	16 10.7	1 0.7	6 4.0	1 0.7	3 2.0
メ デ ィ ア	本や雑誌を読む n=143	16 11.2	5 3.5	2 1.4	2 1.4	13 9.1	10 7.0	4 2.8	8 5.6	6 4.2	2 1.4
	新聞を見る n=361	39 10.8	17 4.7	2 0.6	7 1.9	32 8.9	29 8.0	4 1.1	25 6.9	9 2.5	10 2.8
	テレビを見る n=506	44 8.7	23 4.5	6 1.2	8 1.6	47 9.3	44 8.7	5 1.0	34 6.7	12 2.4	8 1.6
	ラジオを聞く n=109	10 9.2	2 1.8	0 0	3 2.8	13 11.9	9 8.3	0 0	6 5.5	6 5.5	4 3.7

に現在まだ普及していないが、「治療食宅配」も8.1%と、利用したいサービスの6位にあることからみても、健康面での各種社会サービスの普及、充実が高齢者に最も望まれているといえよう。

キャッシュサービス、カタログショッピングの利用経験は11.3%と11.8%であるのに対し、今後の利用意向は3.4%と4.2%と、かなり低い。

現在すでに普及しているサービスの中では「在宅医療」の利用意向が最も高く、特に「病

気で一日中寝ている」者の44.4%、「病気がちで、寝込むことがある」者の20.0%が、今後利用したいと答えており、検定の結果でも、健康状態との間に危険率1%で有意差が認められる。

その他、「メガネをかけても字が読めない者」も、在宅医療の今後の利用意向は29.4%と、高い。

### 3. 電化製品

#### 1) 電化製品の利用と問題点

高齢者が日常生活のなかでよく使用する電化

		カタログ ショッピング	高齢者 デパート	キャッシュ サービス	電話 サービス	コンピュ ータ健康診断	在宅医療	介護用品 貸出し	入浴 サービス	その他	なし
全体 n=567		24 4.2	74 13.1	19 3.4	14 2.5	55 9.7	66 11.6	25 4.4	30 5.3	9 1.6	301 53.1
性	男 n=165	7 10.3	26 15.8	8 4.8	4 2.4	15 9.1	15 9.1	6 3.6	10 6.1	3 1.8	82 49.7
	女 n=399	17 4.3	48 12.0	11 2.8	10 2.5	40 10.0	51 12.8	19 4.8	20 5.0	6 1.5	217 54.4
年	60~64歳 n=60	7 11.7	9 15.0	6 10.0	2 3.3	12 20.0	10 16.7	5 8.3	5 8.3	0 0	29 48.3
	65~69歳 n=103	9 8.7	11 10.7	5 4.9	5 4.9	11 10.7	12 11.7	5 4.9	7 6.8	2 1.9	50 48.5
	70~74歳 n=149	3 2.0	20 13.4	6 4.0	4 2.7	12 8.1	15 10.1	5 3.4	4 2.7	2 1.3	78 52.3
	75~79歳 n=142	2 1.4	20 14.1	1 0.7	2 1.4	10 7.0	14 9.9	6 4.2	7 4.9	3 2.1	82 57.7
齢	80歳~ n=111	3 2.7	15 13.5	1 0.9	1 0.9	8 7.2	15 13.5	4 3.6	7 6.3	2 1.8	61 55.0
	健康である n=274	10 3.6	32 11.7	5 1.8	8 2.9	26 9.5	17 6.2	8 2.9	7 2.6	5 1.8	160 58.4
健康 状態	病気はない n=214	12 5.6	33 15.4	12 5.6	4 1.9	23 10.7	30 14.0	13 6.1	17 7.9	3 1.4	104 48.6
	病気がち n=55	2 3.6	6 10.9	2 3.6	1 1.8	5 9.1	11 20.0	1 1.8	3 5.5	1 1.8	26 47.3
	病気で寝ている n=18	0 0	2 11.1	0 0	1 5.6	1 5.6	8 44.4	3 16.7	3 16.7	0 0	7 38.9
	メガネなしで 読める n=72	2 2.8	3 4.2	0 0	2 2.8	6 8.3	7 9.7	4 5.6	4 5.6	3 4.2	45 62.5
目の 状態	メガネをかければ 読める n=474	21 4.4	69 14.6	19 4.0	12 2.5	47 9.9	54 11.4	19 4.0	25 5.3	5 1.1	244 51.5
	字は読めない n=17	1 5.9	1 5.9	0 0	0 0	2 11.8	5 29.4	2 11.8	1 5.9	1 5.9	10 58.8
取り 扱い 説明 書	読む n=229	13 5.7	41 17.9	13 5.7	7 3.1	27 11.8	29 12.7	10 4.4	12 5.2	4 1.7	105 45.9
	読まない n=163	5 3.1	13 8.0	1 0.6	4 2.5	13 8.0	13 8.0	5 3.1	9 5.5	2 1.2	99 60.7
	どちらでもない n=150	6 4.0	19 12.7	5 3.3	3 2.0	15 10.0	24 16.0	10 6.7	9 6.0	2 1.3	77 51.3
メ デ ィ ア	本や雑誌を読む n=143	7 4.9	17 11.8	8 5.6	6 4.2	17 11.9	17 11.9	9 6.3	7 4.9	5 3.5	69 48.3
	新聞を見る n=361	18 5.0	49 13.6	15 4.2	9 2.5	41 11.4	40 11.1	14 3.9	19 5.3	4 1.1	184 51.0
	テレビを見る n=506	19 3.8	66 13.0	16 3.2	11 2.2	49 9.7	57 11.3	20 4.0	26 5.1	8 1.6	274 54.2
	ラジオを聞く n=109	3 2.8	13 11.9	3 2.8	5 4.6	12 11.0	11 10.1	7 6.4	4 3.7	2 1.8	62 56.9

製品としては、全体から見るとテレビが91.2%で圧倒的に多く、次いで冷蔵庫(76.0%)、扇風機(68.3%)、こたつ(62.3%)、洗濯機(62.1%)の順になっているが、これらは一般に普及率が高い電化製品<sup>8)</sup>であるといえる。反対にあまり使用されない電化製品としては、パソコン、ワープロ、ビデオカメラ、CDプレーヤーなどがあげられるが、これらは普及率が低い電化製品であるといえよう。

また、日常生活という観点からみた時、よく

使用される電化製品は、衣食住と関連が深く、あまり使用されない電化製品は、どちらかというところと娯楽性の高いものが多いといえる。

性別では、炊飯器、オーブン、食器乾燥機、洗濯機、掃除機、アイロンなど家事に使用されるものについては女性の使用が多く、シェイバーは男性の使用が多い。ファンヒーター、エアコン、電気毛布、電気あんかなどの冷暖房器具やテレビでは性差がない。年齢別では、電気あんかとこたつを除いた電化製品で、加齢に伴

表7. よく使う電化製品(複数回答)

		テレビ	ビデオ	ラジカセ	コードレスホン	CD	ビデオカメラ	ワープロ	パソコン	電子レンジ	食器乾燥機	冷蔵庫	食器洗い機	炊飯器	トースター	オーブン	オーブントースター	餅つき機	ジュースミキサー
全体 n=567		517 91.2	49 8.6	107 18.9	33 5.8	8 1.4	5 0.9	2 0.4	2 0.4	192 33.9	71 12.5	431 76.0	18 3.2	325 57.3	155 27.3	56 9.9	113 19.9	102 18.0	75 13.2
性	男 n=165	151 91.6	20 12.1	39 23.6	9 5.5	5 3.0	4 2.4	2 1.2	0 0	36 21.8	9 5.5	101 61.2	4 2.4	39 23.6	33 20.0	9 5.5	20 12.1	21 12.7	10 6.0
	女 n=399	364 91.2	30 7.5	67 16.8	24 6.0	3 0.8	1 0.3	0 0	2 0.5	154 38.6	61 15.3	329 82.5	14 3.5	285 71.4	122 30.6	48 12.0	93 23.3	81 20.3	64 16.0
年	60~64歳 n=60	55 91.7	14 23.3	15 25.0	8 13.3	2 3.3	1 1.7	0 0	0 0	26 43.3	13 21.7	50 83.3	2 3.3	36 60.0	25 41.7	11 18.3	15 25.0	9 15.0	9 15.0
	65~69歳 n=103	96 93.2	19 18.4	22 21.4	9 8.7	2 1.9	1 1.0	2 1.9	1 1.0	51 49.5	19 18.4	90 87.4	5 4.9	68 66.0	38 36.9	14 13.6	29 28.2	21 20.4	24 23.3
	70~74歳 n=149	137 92.0	11 7.4	40 26.9	7 4.7	0 0	2 1.3	0 0	0 0	52 34.9	17 11.4	130 87.2	5 3.4	108 72.5	45 30.2	15 10.1	34 22.8	40 26.8	20 13.4
	75~79歳 n=142	128 90.1	3 2.1	16 11.3	2 1.4	4 2.8	0 0	0 0	1 0.7	43 30.3	20 14.1	92 64.8	6 4.2	61 43.0	33 23.2	11 7.7	22 15.5	23 16.2	12 8.5
	80歳~ n=111	98 88.3	4 3.6	13 11.7	6 5.4	1 0.9	1 0.9	0 0	0 0	17 15.3	2 1.8	70 63.1	1 0.9	49 44.1	15 13.5	5 4.5	12 10.8	9 8.1	10 9.0
健康状態	健康である n=274	258 94.2	34 12.4	57 20.8	14 5.1	6 2.2	4 1.5	1 0.4	1 0.4	101 36.9	46 16.8	219 79.9	9 3.3	154 56.2	88 32.1	24 8.8	63 22.9	58 21.2	40 14.6
	病気はない n=214	194 90.7	10 4.7	37 17.3	15 7.0	1 0.5	0 0	1 0.5	0 0	69 32.2	23 10.7	164 76.6	7 3.3	139 65.0	57 26.6	29 13.6	44 20.6	39 18.2	25 11.7
	病気がち n=55	48 87.3	4 7.3	8 14.5	4 7.3	1 1.8	0 0	0 0	1 1.8	21 38.2	2 3.6	38 69.1	2 3.6	26 47.3	9 16.4	3 5.5	6 10.9	4 7.3	9 16.4
	病気で寝ている n=18	12 66.7	0 0	4 22.2	0 0	0 0	1 5.6	0 0	0 0	1 5.6	0 0	5 27.8	0 0	3 16.7	0 0	0 0	0 0	1 5.6	0 0
目の状態	メガネなしで読める n=72	66 91.7	5 6.9	12 16.7	4 5.6	2 2.8	1 1.4	1 1.4	0 0	21 29.2	10 13.9	58 80.6	3 4.2	44 61.1	21 27.2	7 9.7	11 15.3	7 23.6	9 12.5
	メガネをかければ読める n=474	435 91.8	43 9.1	93 19.6	29 6.2	6 1.3	4 0.8	1 0.2	2 0.4	169 35.7	60 12.7	364 76.8	15 3.2	274 57.8	132 27.8	48 10.1	101 21.3	83 17.5	65 13.7
	字は読めない n=17	14 82.4	1 5.9	3 17.6	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 11.8	1 5.9	8 47.1	0 0	6 35.3	2 11.8	1 5.9	0 0	1 5.9	1 5.9
取り扱い説明書	読む n=229	217 94.8	31 13.5	57 24.9	19 8.3	4 1.7	2 0.9	2 0.9	2 0.9	112 48.9	44 19.2	191 83.4	12 5.2	146 63.8	84 36.7	37 16.2	66 28.8	55 24.0	46 20.1
	読まない n=163	152 93.2	5 3.1	24 14.7	6 3.7	2 1.2	0 0	0 0	0 0	38 23.3	12 7.4	117 71.8	5 3.1	86 52.8	36 22.1	8 4.9	24 14.7	20 12.3	17 10.4
	どちらでもない n=150	134 89.3	13 8.7	25 16.7	8 5.3	2 1.3	2 1.3	0 0	0 0	38 25.3	13 8.7	112 74.7	1 0.7	85 56.7	31 20.7	10 6.7	22 14.7	25 16.7	12 8.0
メディア	本や雑誌を読む n=143	133 93.0	29 20.3	38 26.6	14 9.8	5 3.5	2 1.4	2 1.4	1 0.7	65 45.5	29 20.3	120 83.9	6 4.2	91 63.6	53 37.1	20 14.0	42 29.4	29 20.3	40 28.0
	新聞を見る n=362	334 92.5	39 10.8	74 20.5	24 6.6	4 1.1	4 1.1	1 0.3	1 0.3	137 8.0	46 12.7	287 79.5	11 3.0	208 57.3	119 33.0	38 10.5	83 23.0	66 18.3	52 14.4
	テレビを見る n=506	477 94.3	47 9.3	93 18.4	28 5.5	5 1.0	5 1.0	1 0.2	2 0.4	176 34.8	66 13.0	391 77.3	16 3.2	286 56.5	144 28.5	48 9.5	102 20.2	90 17.8	68 13.4
	ラジオを聞く n=109	101 92.7	13 11.7	49 45.0	9 8.3	1 0.9	3 2.8	0 0	0 0	46 42.2	15 13.8	86 78.9	7 6.4	55 50.5	38 34.9	13 11.9	24 22.0	21 19.3	26 23.9



い使用する割合が減っていく。目の状態では、「メガネなしで読める」、「メガネをかければ読める」者に対して、「字は読めない」と答えた者は、ほとんどの電化製品で利用する割合が低い。取り扱い説明書を読む者は、読まない者に比べて、よく使用すると答えた者が多く、いろいろな電化製品を使用しているといえる。

## 2) 電化製品の取り扱い説明書

取り扱い説明書を読む者は、全体で42.2%と約半数の者が、取り扱い説明書を読んでいるこ

とがわかる。

性別では、「読む」が男性で54.8%と、女性の36.8%を上回り、男性の方が多く取り扱い説明書を読んでいる。年齢別では加齢につれ読む者が減り、75~79歳では、読む者と読まない者が同率、80歳以上では読まない者が上回っている。「本や雑誌を読む」者の64.3%が取り扱い説明書を読むと答えており、かなり高い割合を示している。

取り扱い説明書の問題点としては、全体から

		上段：実数(人) 下段：割合(%)																
		フードプロセッサ	洗濯機	乾燥機	掃除機	アイロン	加湿器	空気清浄機	エアコン	扇風機	ファンヒーター	電気毛布	ホットカーペット	こたつ	電気あんか	シェイバー	ドライヤー	その他
全体	n=567	9 1.6	352 62.1	45 7.9	293 51.7	201 35.4	12 2.1	16 2.8	187 33.0	387 68.3	86 15.2	288 50.8	146 25.7	353 62.3	182 32.1	58 10.2	89 15.7	9 1.6
性	男 n=165	1 0.6	44 26.7	6 3.6	40 24.2	18 10.9	1 0.6	3 1.8	56 33.9	101 61.2	24 14.5	83 50.3	38 23.0	87 52.7	53 32.1	49 29.7	18 10.7	2 1.2
	女 n=399	8 2.0	307 76.9	39 9.8	253 63.4	183 45.9	12 3.0	13 3.3	129 32.3	276 69.2	62 15.5	205 51.4	108 27.1	265 66.4	129 32.3	9 2.3	70 17.5	7 1.8
年齢	60~64歳 n=60	2 3.3	37 61.7	8 13.3	38 63.3	34 56.7	3 5.0	1 1.7	33 55.0	43 71.7	14 23.3	32 53.3	19 31.7	34 56.7	15 25.0	13 21.7	20 33.3	0
	65~69歳 n=103	3 2.9	71 69.0	15 14.6	67 65.0	48 46.6	3 2.9	4 3.9	47 45.6	76 73.8	26 25.2	59 57.3	37 35.9	66 64.1	27 26.2	16 15.5	28 27.2	3 2.9
	70~74歳 n=149	1 0.7	113 75.8	8 5.4	88 59.1	67 45.0	2 1.3	5 3.4	46 30.9	107 71.8	21 14.1	74 49.7	35 23.5	106 71.1	59 39.6	9 6.0	23 15.4	2 1.3
	75~79歳 n=142	1 0.7	80 56.3	9 6.3	66 46.5	35 24.6	4 2.8	5 3.5	36 25.4	89 62.7	17 12.0	72 50.7	35 24.6	79 55.6	45 31.7	13 9.2	12 8.5	4 2.8
	80歳~ n=111	2 1.8	48 43.2	6 5.4	32 28.8	17 15.3	1 0.9	1 0.9	23 20.7	63 56.8	8 7.2	51 45.9	20 18.0	67 60.4	35 31.5	7 6.3	6 5.0	0
健康状態	健康である n=274	3 1.1	178 65.0	28 10.2	159 58.0	108 39.4	6 2.2	7 2.6	92 33.6	191 69.7	47 17.2	129 47.1	68 24.8	175 63.9	90 32.8	32 11.7	54 19.7	3 1.1
	病気はない n=214	5 2.3	136 63.6	15 7.0	105 49.1	74 34.6	5 2.3	4 1.9	75 35.0	138 64.5	28 13.1	119 55.6	62 29.0	134 62.6	65 30.4	17 7.9	28 13.1	5 2.3
	病気がち n=55	1 1.8	31 56.4	1 1.8	25 45.5	17 30.9	0	3 5.5	17 30.9	37 67.3	10 18.2	29 52.7	15 27.3	35 65.5	22 40.0	6 10.9	4 7.3	1 1.8
	病気で寝ている n=18	0 0	3 16.7	1 5.6	1 5.6	0	0	1 5.6	3 16.7	8 44.4	0	8 44.4	1 5.6	6 33.3	3 16.7	1 5.6	0	0
目の状態	メガネなしで読める n=72	1 1.4	46 63.9	4 5.6	33 45.8	27 37.5	1 1.4	0	19 26.4	49 68.1	13 18.1	28 38.9	18 25.0	41 56.9	23 31.9	6 8.3	5 6.9	3 4.2
	メガネをかければ読める n=474	8 1.7	297 62.7	41 8.6	251 53.0	170 35.9	11 2.3	15 3.2	165 34.8	320 67.5	71 15.0	254 53.6	126 26.6	301 63.5	154 32.5	51 10.8	83 17.5	0
	字は読めない n=17	0 0	8 47.1	0	7 41.2	4 23.5	0	1 5.9	3 17.6	7 41.2	2 11.8	5 29.4	2 11.8	10 58.8	4 23.5	1 5.9	1 5.9	6 35.3
取り扱い説明書	読む n=229	6 2.6	148 64.6	33 14.4	142 62.0	103 45.0	8 3.5	9 3.9	107 46.7	163 71.2	45 19.7	131 57.2	78 34.1	143 62.4	80 34.9	34 14.8	55 24.0	4 1.7
	読まない n=163	0 0	95 58.3	5 3.1	70 42.9	45 27.6	1 0.6	3 1.8	47 28.8	104 63.8	24 14.7	87 53.4	36 22.1	107 65.6	64 39.3	11 6.7	15 9.2	4 2.5
	どちらでもない n=150	3 2.0	98 65.3	7 4.7	75 50.0	47 31.3	3 2.0	4 2.7	32 21.3	105 70.0	16 10.7	63 42.0	30 20.0	95 63.3	35 23.3	13 8.7	17 11.3	1 0.7
メディア	本や雑誌を読む n=143	3 2.1	97 67.8	21 14.7	97 67.8	71 49.7	7 4.9	4 2.8	71 49.7	102 71.3	29 20.3	88 61.5	45 31.5	85 59.4	64 44.8	18 12.6	47 32.9	3 2.1
	新聞を見る n=362	6 1.7	222 61.5	37 10.2	202 56.0	147 40.7	10 2.8	9 2.5	145 40.2	258 71.5	64 17.7	185 51.2	109 30.2	233 64.5	125 34.6	43 11.9	73 20.2	5 1.4
	テレビを見る n=506	9 1.8	317 62.6	41 8.1	268 53.0	182 36.0	11 2.2	15 3.0	173 34.2	343 67.8	75 14.8	262 51.8	130 25.7	318 62.8	165 32.6	50 9.9	82 16.2	9 1.8
	ラジオを聞く n=109	3 2.8	67 61.5	9 8.3	64 58.7	42 38.5	5 4.6	4 3.7	38 34.9	79 72.5	19 17.4	56 51.4	28 25.7	68 62.4	44 40.4	16 14.7	25 22.9	2 1.8

見ると「問題なし」とする者が21.0%であり、何らかの問題点があるとする者が、それより若干多く30%前後いるが、それぞれの項目間での差はあまりない。性別では、「問題なし」とする者は女性の方が少ない。それぞれの問題点では、女性の割合が高く、女性の方が取り扱い説明書について、問題を多く感じている。取り扱い説明書を読む者では「問題なし」と答えた者が、読まない者より約3倍多い。問題点については、「字が小さい」、「外来語が多すぎる」と

いう表記上の事柄をあげる者が、取り扱い説明書を読む者に多く、読まない者が内容についての事柄で、高率を示しているのとは対比している。また、「字が小さい」とする者が、「字は読めない」者で多いこと、「事柄が多すぎる」ことをあげた者が、「本を読む者」でごく少数であることなどが特筆すべき事柄である。

### 3) 電子レンジ

電子レンジについては、全体で33.4%の者がよく使用すると答えているが、その割合は使用

表8. 電化製品の取り扱い説明書を読みますか。 上段：実数(人) 下段：割合(%)

		はい	いいえ	どちらでもない	計
全 体		229 42.2	163 30.1	150 27.7	542 100.0
性	男	86 54.8	37 23.6	34 21.6	157 100.0
	女	141 36.8	126 32.9	116 30.3	383 100.0
年 齢	60～64歳	33 55.9	9 15.3	17 28.8	59 100.0
	65～69歳	49 48.0	23 22.6	30 29.4	102 100.0
	70～74歳	60 42.8	40 28.6	40 28.6	140 100.0
	75～79歳	49 37.1	49 37.1	34 25.8	132 100.0
	80歳～	37 34.3	42 38.9	29 26.8	108 100.0
健康状態	健康である	122 46.2	80 30.3	62 23.5	264 100.0
	病気はない	84 41.6	57 28.2	61 30.2	202 100.0
	病気がち	22 40.0	19 34.5	14 25.5	55 100.0
	病気で寝ている	0 0	7 43.8	9 56.2	16 100.0
目の状態	眼鏡なしで読める	26 28.8	24 35.8	17 25.4	67 100.0
	眼鏡をかければ読める	201 44.0	129 28.2	27 27.8	457 100.0
	字は読めない	1 5.9	10 58.8	6 35.3	17 100.0
取り扱い説明書	読む				
	読まない				
	どちらでもない				
メディア	本や雑誌を読む	88 64.3	29 21.2	20 14.6	137 100.0
	新聞を見る	187 53.8	77 22.2	84 24.1	348 100.0
	テレビを見る	209 43.4	150 31.1	123 25.5	482 100.0
	ラジオを聞く	62 59.0	21 20.0	22 21.0	105 100.0

表9. 取り扱い説明書の問題点(複数回答) 上段：実数(人) 下段：割合(%)

		内容がよくわからない	外来語が多い	事柄が多すぎる	字が小さい	問題なし	その他
全 体 n=567		194 34.2	187 33.0	167 29.5	168 29.6	119 21.0	9 1.6
性	男 n=165	38 23.0	49 29.7	47 28.5	44 26.7	39 23.6	4 2.4
	女 n=399	156 39.1	138 34.6	119 29.8	123 30.8	79 19.8	5 1.3
年 齢	60～64歳 n=60	23 38.3	26 43.3	19 4.8	16 26.7	11 18.3	1 1.7
	65～69歳 n=103	25 24.3	29 28.2	32 31.1	31 30.1	27 26.2	1 1.0
	70～74歳 n=149	57 38.3	59 39.6	50 33.6	55 36.9	26 17.4	0 0
	75～79歳 n=142	46 32.4	40 28.2	36 25.4	36 25.4	34 23.9	3 2.1
	80歳～ n=111	43 38.7	33 29.1	29 26.1	30 27.0	21 18.9	4 3.6
健康状態	健康である n=274	87 31.8	82 29.9	80 29.2	71 25.9	61 22.3	4 1.5
	病気はない n=214	82 38.3	79 36.9	65 30.4	70 32.7	38 17.8	5 2.3
	病気がち n=55	20 36.4	18 32.7	16 29.1	20 36.4	17 30.9	0 0
	病気で寝ている n=18	4 22.2	7 38.9	6 33.3	7 38.9	1 5.6	0 0
目の状態	眼鏡なしで読める n=72	19 26.4	18 25.0	21 29.2	14 19.4	17 23.6	4 5.6
	眼鏡をかければ読める n=474	171 36.1	162 34.2	141 29.7	146 30.8	99 20.9	5 1.1
	字は読めない n=17	4 23.5	7 41.2	4 23.5	7 41.2	3 17.6	0 0
取り扱い説明書	読む n=229	40 17.5	82 35.8	64 26.6	74 32.3	76 33.2	2 0.9
	読まない n=163	83 50.9	59 36.2	53 32.5	46 28.2	17 10.4	5 3.1
	どちらでもない n=150	70 46.7	43 28.7	51 34.0	45 30.0	25 16.7	2 1.3
メディア	本や雑誌を読む n=143	33 23.1	43 30.1	1 0.7	34 23.8	43 30.1	1 0.7
	新聞を見る n=361	105 29.1	115 31.9	111 30.7	104 28.8	87 24.1	5 1.4
	テレビを見る n=506	168 33.2	167 33.0	146 28.9	154 30.4	110 21.7	8 1.6
	ラジオを聞く n=109	25 22.9	40 36.7	34 31.2	38 34.9	25 22.9	1 0.9

しないと答えた者よりも少なく、本調査の結果からは、まだよく使われている電化製品とはいがたい。

性別では、女性が37.4%で男性を上回っているが、男性でも22.6%の者がよく使用すると答えている。年齢別では、加齢につれて、よく使用する者の割合は減少しており、80歳以上では14.0%と、60歳代の約3分の1になっている。説明書を読む者は、読まない者に比べて、2倍以上の者が電子レンジをよく使用すると答えて

表10. 電子レンジの使用状況 上段：実数(人)  
下段：割合(%)

		はい	いいえ	どちらでもない	計
全 体		181 33.4	279 51.5	82 15.1	542 100.0
性	男	35 22.6	99 63.9	21 13.5	155 100.0
	女	144 37.4	180 46.8	64 15.8	385 100.0
年 齢	60～64歳	25 43.8	23 40.4	9 15.8	57 100.0
	65～69歳	48 47.5	37 36.6	16 15.9	101 100.0
	70～74歳	46 32.4	71 50.0	25 17.6	142 100.0
	75～79歳	46 34.3	74 55.2	14 10.5	134 100.0
	80歳～	15 14.0	74 69.2	18 16.8	107 100.0
健康状態	健康である	94 35.3	130 48.9	42 15.8	266 100.0
	病気はない	64 31.5	107 52.7	32 15.8	203 100.0
	病気がち	20 37.7	25 47.2	8 15.1	53 100.0
	病気で寝ている	2 12.5	14 87.5	0 0	16 100.0
目の状態	眼鏡なしで読める	20 28.6	42 60.0	8 11.4	70 100.0
	眼鏡をかければ読める	156 35.0	221 48.7	74 16.3	454 100.0
	字は読めない	2 11.8	15 88.2	0 0	17 100.0
取り扱い説明書	読む	105 47.1	85 38.1	33 14.8	223 100.0
	読まない	34 21.0	112 69.1	16 9.9	162 100.0
	どちらでもない	36 24.8	76 52.4	33 22.8	145 100.0
メディア	本や雑誌を読む	69 50.4	51 37.2	17 12.4	137 100.0
	新聞を見る	129 37.5	162 47.1	53 15.4	344 100.0
	テレビを見る	165 34.1	246 50.8	73 15.1	484 100.0
	ラジオを聞く	45 42.9	47 44.8	13 12.4	105 100.0

おり、使用に対してより積極的な態度がうかがわれる。

問題点については、全体としてみると、「非常に便利」と「使わないからわからない」が、それぞれ29.8%で多い。次いで、「使い方がわからない」「機能が多すぎる」「ボタンが多すぎる」などの使用上の問題点をあげた者と、「必要ない」という者が10%以上いる。

取り扱い説明書を読む者と読まない者では、「非常に便利」とする者が、前者では44.1%、後者では19.6%と2倍以上の差がある。また、「ボタンが多すぎる」「使い方がわからない」など、使用上の問題点をあげる者は、後者の方が多い。

#### 4. クレジットカードの利用

クレジットカードを使って買い物を「全くしない」者が90.0%と「ほとんどしない」者を合わせると95.0%以上で、高齢者はカードを使つての買い物はほとんどしていない。

この傾向は年齢別では、高齢になるほど使われないことが表れている。女性の方が男性よりも利用度が高い。

クレジットカードを、利用しない理由としては、まず、「カードを持っていない」が75.6%と高く、次いで「使い方がわからない」が26.2%、「イメージが悪い」が17.6%で、使い方がわからない男性は17.2%、女性が30.3%と性差が大きい。

また、取り扱い説明書を読む者では、「カードの使い方がわからない」者は、14.1%であるが、読まない者は37.9%となる。「イメージが悪い」は年齢による差が大きく、60～64歳では33.3%であるが、高齢になるに従って、その比率は低くなっている。「お金を使いすぎてしまう」という者は15%前後で、性、年齢、その他による差はあまりみられない。「サインをするのが面倒」は5%くらいで、いずれも低い。

#### IV. まとめ

高齢者が、日常生活に関わる情報やサービスにどう対応しているか、どこに問題があるかを

研究した。高齢者の考えや状態を調査したのは、以下の8項目についてである。(1)食品表示を知っているか、(2)衣服表示を知っているか、(3)今までに利用した社会サービス、(4)今後利用したいサービス、(5)よく使う電化製品、(6)電化製品の取り扱い説明書を読むか、(7)電子レンジの利用、(8)クレジットカードで買い物をするか。

食品や衣服の表示は、多くの高齢者がその存在を知っている。また、表示の問題点については、いずれも「字が小さくて見にくい」ことが

第一にあげられた。社会サービスの利用度は低い。また、今後利用したい社会サービスは在宅医療等、健康関連のものが多。電化製品の利用については、冷蔵庫など広く普及しているものの利用度が高く、ワープロなどは利用度が低い。電化製品の取り扱い説明書は、約半数の者が読んでいるが、かなりの者が問題があると考えている。クレジットカードはほとんどの者が利用していない。

このように、高齢者の情報への対応は十分で

表11. 電子レンジの問題点 (複数回答)

上段：実数(人)  
下段：割合(%)

		字が小さい	ボタンが多すぎる	ボタンが小さい	外来語が多い	機能が多すぎる	価格が高い	さわるのがコワイ	必要ない	使い方がわからない	非常に便利	使わないからわからない	その他
全体 n=567		55 9.7	72 12.7	22 3.9	57 10.1	84 14.8	37 6.5	34 6.0	69 12.2	80 14.1	169 29.8	169 29.8	18 3.2
性	男 n=165	15 9.1	16 9.7	4 2.4	14 8.5	22 13.3	10 6.1	3 1.8	22 13.3	18 10.9	39 23.6	49 29.7	8 4.8
	女 n=399	40 10.0	56 14.0	18 4.5	43 10.8	62 15.5	26 6.5	31 7.8	47 11.8	62 15.5	129 32.3	120 30.1	10 2.5
年 齢	60~64歳 n=60	7 11.7	10 16.7	4 6.7	7 11.7	13 21.7	6 10.0	1 1.7	6 10.0	7 11.7	24 40.0	13 21.7	3 5.0
	65~69歳 n=103	8 7.8	11 10.7	3 2.9	8 7.8	17 16.5	10 9.7	2 1.7	10 9.7	8 7.8	48 46.6	24 23.3	2 1.9
	70~74歳 n=149	18 11.4	22 14.8	6 4.0	18 12.1	32 21.5	10 6.7	12 8.1	23 15.4	26 17.4	43 28.9	39 26.2	3 2.0
	75~79歳 n=142	14 9.9	11 7.7	4 2.8	15 10.6	12 8.5	5 3.5	10 7.0	14 9.9	25 17.6	38 26.8	42 29.6	4 2.8
	80歳~ n=111	9 8.1	18 16.2	5 4.5	9 8.1	10 9.0	6 5.4	9 8.1	16 14.4	14 12.6	15 13.5	51 45.9	6 5.4
健康 状態	健康である n=274	22 8.0	33 12.0	9 3.3	25 9.1	40 14.6	21 7.7	9 3.3	32 11.7	33 12.0	92 33.6	79 28.8	8 2.9
	病気はない n=214	22 10.3	27 12.6	7 3.3	19 8.9	31 14.5	12 5.6	20 9.3	22 12.6	36 16.8	55 25.7	68 31.8	8 3.7
	病気がち n=55	7 12.7	10 18.2	5 9.1	11 20.0	10 18.2	4 7.3	4 7.3	7 12.7	10 18.2	19 34.5	14 25.5	1 1.8
	病気で寝ている n=18	4 22.2	2 11.1	1 5.6	2 11.1	3 16.7	0 0	1 5.6	2 11.1	1 5.6	2 11.1	6 33.3	1 5.6
目 の 状 態	眼鏡なしで読める n=72	5 6.9	5 6.9	2 2.8	5 6.9	6 8.3	4 5.6	3 4.2	9 12.5	11 15.3	18 25.0	23 31.9	2 2.8
	眼鏡かければ読める n=474	48 10.1	65 13.7	18 3.8	50 10.5	76 16.0	33 7.0	0 6.3	58 12.2	65 13.7	49 31.4	34 28.3	6 3.4
	字は読めない n=17	1 5.7	2 11.8	2 11.8	2 11.8	2 11.8	0 0	1 5.9	2 11.8	4 23.5	2 11.8	12 70.6	0 0
取 り 扱 い 説 明 書	読む n=229	25 10.9	27 11.8	5 2.2	25 10.9	29 12.7	19 8.3	6 2.6	24 10.5	12 5.2	101 44.1	37 16.2	8 3.5
	読まない n=163	17 10.4	29 17.8	10 6.1	19 11.7	34 20.9	8 4.9	16 9.8	22 13.5	30 18.4	32 19.6	74 45.4	3 1.8
	どちらでもない n=150	12 8.0	16 10.7	6 4.0	13 8.7	19 12.7	9 6.0	12 8.0	2 14.7	36 24.0	33 22.0	4 36.0	7 4.7
メ デ ィ ア	本や雑誌を読む n=143	12 8.4	15 10.5	4 2.8	10 7.0	22 15.4	12 8.4	8 5.6	11 7.7	14 9.8	58 40.6	30 21.0	5 3.5
	新聞を見る n=361	36 10.0	50 13.9	12 3.3	39 10.8	61 16.9	28 7.8	16 4.4	38 10.5	41 11.4	115 31.9	102 28.3	10 2.8
	テレビを見る n=506	50 9.9	63 12.5	20 4.0	52 10.3	73 14.4	33 6.5	31 6.1	60 11.9	77 15.2	149 29.4	150 29.6	16 3.2
	ラジオを聞く n=109	14 12.8	13 11.9	3 2.8	15 13.8	14 12.8	10 9.2	5 4.6	10 9.2	10 9.2	40 36.7	28 25.7	3 2.8

はなく、問題もある。そこで、上記の項目についてクロス集計を行い、さらに考察を深めた。クロスする項目は、(a)性、(b)年齢、(c)健康状態、(d)目の状態、(e)取り扱い説明書を読むかどうか、(f)メディアの利用状況である。表14に、 $\chi^2$ 検定の結果を示す。

上記の情報関連項目については、社会サービスなどを除いて、(a)性～(e)取り扱い説明書の項目とかなり強い関連を持っていることが明らかになった。また、(d)目の状態と(f)メディアの利

用状況は、高齢者の情報への対応とあまり関係を持っていない。

高齢者の年齢と性差は、情報への対応に特に大きく関係している。より高齢になるにしたがって、表示の認識度や社会サービス、電化製品の利用度は低下し、取り扱い説明書を読まなくなる。表示に関しては、男女の衣服への関心の高低が表示の認識度に大きな差をもたらし、食品の表示は男女共高い認識率であったので、性差がなかったものと考えられる。電化製品も、

表12. クレジットカードでの買い物

		よくする	時々する	ほとんど しない	まったく しない	計
全 体		5 0.9	16 2.9	35 6.2	506 90.0	562 100.0
性	男	1 0.6	4 2.5	20 12.3	137 84.6	162 100.0
	女	4 1.0	12 3.0	15 3.8	365 92.2	396 100.0
年 齢	60～64歳	1 1.7	5 8.3	9 15.0	45 75.0	60 100.0
	65～69歳	2 2.0	4 3.9	9 8.8	87 85.3	102 100.0
	70～74歳	1 0.7	6 4.0	7 4.7	135 90.6	149 100.0
	75～79歳	0 0	1 0.7	6 4.3	132 95.0	139 100.0
	80歳～	1 0.9	0 0	4 3.7	104 95.4	109 100.0
メ デ ィ ア	本や雑誌を 読む	4 2.8	8 5.6	11 7.7	119 83.8	142 100.0
	新聞を見る	3 0.8	15 4.2	26 7.2	314 87.8	358 100.0
	テレビを見る	4 0.8	15 3.0	33 6.6	448 89.6	500 100.0
	ラジオを聞く	0 0	5 4.7	9 8.5	92 86.8	106 100.0
目 の 状 態	メガネなしで 読める	0 0	1 1.4	6 8.6	63 90.0	70 100.0
	メガネをかけ れば読める	5 1.1	15 3.2	28 5.9	423 89.8	471 100.0
	字は読めない	0 0	0 0	1 5.9	16 94.1	17 100.0
取 り 扱 い 説 明 書	読む	3 1.3	12 5.3	19 8.3	194 85.1	228 100.0
	読まない	1 0.6	1 0.6	3 1.9	158 96.9	163 100.0
	どちらでも ない	1 0.7	2 1.3	12 8.1	134 89.9	149 100.0

表13. クレジットカードを使用しない理由(複数回答)

		使い方が わからない	サインする のがめんどろ	イメージ が悪いか	お金を使い 過ぎてしま	カードを持 っていない	その他
全体 n = 541		142 26.2	29 5.4	95 17.6	79 14.6	409 75.6	36 6.7
性	男 n = 157	27 17.2	5 3.2	31 19.7	26 16.6	110 70.1	14 8.9
	女 n = 380	115 30.3	24 6.3	63 16.6	51 13.4	298 78.4	21 5.5
年 齢	60～64歳 n = 54	12 22.2	3 5.6	18 33.3	12 22.2	37 68.5	5 9.3
	65～69歳 n = 96	16 16.7	3 3.1	22 22.9	17 17.7	74 77.1	2 2.1
	70～74歳 n = 142	41 28.9	9 6.3	26 18.3	26 18.3	105 73.9	11 7.7
	75～79歳 n = 138	39 28.3	11 8.0	19 13.8	17 12.3	105 76.1	11 8.0
	80歳～ n = 108	34 31.5	3 2.8	10 9.3	7 6.5	86 79.6	6 5.6
メ デ ィ ア	本や雑誌を読む n = 143	22 15.4	4 2.8	30 21.0	26 18.2	88 61.5	8 5.6
	新聞を見る n = 361	80 22.2	20 5.5	68 18.8	57 15.8	253 70.0	19 5.3
	テレビを見る n = 506	125 24.7	27 5.3	87 17.2	74 14.6	365 72.1	30 5.9
	ラジオを聞く n = 109	19 17.4	7 6.4	24 22.0	24 22.0	73 67.0	5 4.6
目 の 状 態	メガネなしで 読める n = 69	17 24.6	5 7.2	9 13.0	9 13.0	58 84.1	3 4.3
	メガネをかければ 読める n = 451	121 26.8	24 5.3	84 18.6	68 15.1	333 73.8	31 6.9
	字は読めない n = 17	4 23.5	0 0	2 11.8	2 11.8	15 88.2	1 5.9
取 り 扱 い 説 明 書	読む n = 213	30 14.1	8 3.8	50 23.5	43 20.2	156 73.2	14 6.6
	読まない n = 161	61 37.9	9 5.6	13 8.1	16 9.3	121 75.2	13 8.1
	どちらでもない n = 146	49 33.6	11 7.5	31 21.2	17 11.6	116 79.5	8 5.5

表14. クロス集計表の $\chi^2$ 検定

	(1) 食品表示	(2) 衣服表示	(3) サービス今迄	(4) サービス今後	(5) 電化製品	(6) 説明書	(7) 電子レンジ	(8) カード使用
(a)性		**			**	**	**	**
(b)年齢	**	**	**		**	*	**	**
(c)健康状態	**	**	**	**		*		
(d)目の状態					**	*	*	
(e)取り扱い説明書	**	**			**	/	**	**
(f)メディア						**	*	

\* : 危険率5%で棄却、\*\* : 危険率1%で棄却

家事に使用されるものは男女の差が大きい。また、健康状態が社会サービスの利用と強い関連にあるのは、高齢者が必要としているサービスの内容を反映していると考えられる。

目の状態とメディアの利用状況は、本研究で調査した情報関連項目と強い関連をあまりもたなかった。情報摂取には、目の能力が最も重要であるし、新聞などのメディアは、情報の供給源として重要である。目の状態に関しては、多くの人が、眼鏡をかければ読める状態にあるので<sup>5)</sup>、目の状態は、今回の調査では情報への対応と関係を持たなかったのであろう。ただ、食品や衣服の表示や電化製品の取り扱い説明書の問題点では、「字が小さすぎる」をあげた者が一番多かった。これらの点は今後、改善される必要があるだろう。

性、年齢とならんで、「電化製品の取り扱い説明書を読むかどうか」が、情報への対応と強い関係にあることは注目される。取り扱い説明書の読みこなしが、高齢者の情報化への対応を考える場合、重要である。高齢者が取り扱い説明書を読む、読まないは何によって決まるかを探ることが、今後の研究課題になるだろう。

参考文献

- 1) 下東艶子他『高齢者の生活問題』家政教育社, 1984年
- 2) 内閣総理大臣官房老人対策室『老人の生活と意識』1982年
- 3) 経済企画庁総合計画局『活力ある高齢化社会を目指して』1985年
- 4) 科学技術庁資源調査会『健やかな新高齢期』1855年
- 5) 宮崎和子, 本間恵美, 杉山喜美恵, 杉原利治, 日比昌子, 東海女子短期大学紀要, 第18号, 41(1991)
- 6) 松本依子, 山口女子大学研究報告, 第15号 1989年
- 7) 竹内宏『アンケート調査年鑑』並木書房, 1990年
- 8) 経済企画庁調査局編『平成3年版 家計消費の動向』1992年